取扱いの趣旨

　ベタメタゾン吉草酸エステルは、蕁麻疹診療ガイドラインにおいて、「膨疹出現が抑制されることを期待し得るが、副作用の可能性を考慮すると一般的な蕁麻疹の治療法としては推奨されない」とあるため、じんま疹等に対する算定は、原則として認められない。

ＤＸ審査支払機構が公表している取扱いの全文

【投薬】　《令和6年5月31日》

165　ベタメタゾン吉草酸エステルの算定について

○　取扱い

　次の傷病名に対するベタメタゾン吉草酸エステル（リンデロン－Ｖ軟膏0.12%）の算定は、原則として認められない。
⑴ じんま疹　⑵ 慢性じんま疹　⑶ 乾皮症、皮脂欠乏症

○　取扱いを作成した根拠等

　じんま疹は、真皮又は皮下組織の毛細血管が拡張し、同時に血管から血漿成分（水分）が漏れ出して膨らむことにより、皮膚に一過性、限局性の膨疹、紅斑及び瘙痒が生じる疾患であり、食物や薬剤等原因が明らかなものと明らかな原因がなく繰り返し症状が出現する特発性のものがある。
　特発性のものは、１か月以内に症状が消失するものを急性じんま疹、１か月以上症状が継続するものを慢性じんま疹と分類している。治療には薬物療法の第一選択として第２世代の抗ヒスタミン薬を使用する。ステロイド外用薬の使用は、蕁麻疹診療ガイドライン2018において、「膨疹出現が抑制されることを期待し得るが，副作用の可能性を考慮すると一般的な蕁麻疹の治療法としては推奨されない」とされている。
　乾皮症（皮脂欠乏症）は、皮膚表面を覆う皮脂の減少により皮膚が乾燥する疾患であり、治療には保湿剤を使用する。保湿剤による治療にもかかわらず増悪して湿疹化した場合は、ステロイド外用薬等の抗炎症薬を用いた治療を併用することがあるが、乾皮症や皮脂欠乏症に対する、ステロイド外用薬投与の必要性は低いと考えられる。
　ベタメタゾン吉草酸エステル（リンデロン－Ｖ軟膏0.12%）は、皮膚外用合成副腎皮質ホルモン剤（軟膏）（ステロイド外用薬）である。以上のことから、上記⑴から⑶の傷病名に対する本剤の算定は、原則として認められないと判断した。

初回検証からフォローアップ検証までの改善状況及び今後の対応

全都道府県改善

フォローアップ検証終了時点の改善都道府県数
47

■都道府県の改善状況

初回検証のフォローアップ対象都道府県数	フォローアップ検証後の未改善都道府県数
15	0

■誤り件数の改善状況

要因別	初回検証の誤り件数 /9か月（年換算）	フォローアップ検証の 誤り件数/6か月（年換算）	改善率
職 員	51（ 68）	0（0）	100.0%
審査委員	54（ 72）	0（0）	100.0%
合 計	105（140）	0（0）	100.0%

※年換算の件数は、職員と審査委員のそれぞれの単位で小数点以下を四捨五入しているため、合計と内訳の計とが一致しない場合がある。

■フォローアップ検証で改善（※少数事例に該当する都道府県含む）した都道府県：15

北海道、宮 城、秋 田、埼 玉、山 梨、岐 阜、兵 庫、奈 良、岡 山、山 口、高 知、福 岡、長 崎、大 分、鹿児島

※少数事例は、取扱いと異なる件数や割合が以下のとおりである。
・全国で年間10件未満の事例
・年間100件未満かつ1割未満又は都道府県別少数事例基準件数以下の都道府県

・全都道府県が適正な審査に改善　⇒対応なし

該当件数に対する検証結果

2026年2月～2026年7月審査分

検証の結果、該当件数135件のうち、**取扱いと異なる審査は0件（0%）**

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査（ＣＣ解除等の誤処理）			
					査定・返戻			請求どおり				
		計	適正審査合計	適正審査の割合	査定	返戻	査定返戻計	詳記等から適正	取扱いの認識誤り合計	取扱いの認識誤りの割合	職員	審査委員
01	北海道	5										
02	青森	0										
03	岩手	0										
04	宮城	3										
05	秋田	1										
06	山形	0										
07	福島	1										
08	茨城	3										
09	栃木	2										
10	群馬	2										
11	埼玉	3										
12	千葉	5										
13	東京	23										
14	神奈川	7										
15	新潟	1										
16	富山	1										
17	石川	2										
18	福井	0										
19	山梨	3										
20	長野	3										
21	岐阜	3										
22	静岡	2										
23	愛知	8										
24	三重	3										

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査（ＣＣ解除等の誤処理）			
					査定・返戻			請求どおり				
		計	適正審査合計	適正審査の割合	査定	返戻	査定返戻計	詳記等から適正	取扱いの認識誤り合計	取扱いの認識誤りの割合	職員	審査委員
25	滋賀	1										
26	京都	1										
27	大阪	25										
28	兵庫	6										
29	奈良	3										
30	和歌山	2										
31	鳥取	0										
32	島根	0										
33	岡山	2										
34	広島	0										
35	山口	0										
36	徳島	0										
37	香川	1										
38	愛媛	2										
39	高知	1										
40	福岡	4										
41	佐賀	0										
42	長崎	2										
43	熊本	0										
44	大分	0										
45	宮崎	1										
46	鹿児島	1										
47	沖縄	2										
	全国	135							0	0.00%	0	0

※グレーは改善都道府県

該当件数に対する検証結果

2024年11月～2025年7月審査分

検証の結果、該当件数2,221件のうち、**取扱いと異なる審査は126件（5.67%）**
検証対象23都道府県のうち、**フォローアップ対象は15都道府県**

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査（ＣＣ解除等の誤処理）			
					査定・返戻			請求どおり				
		計	適正審査合計	適正審査の割合	査定	返戻	査定返戻計	詳記等から適正	取扱いの認識誤り合計	取扱いの認識誤りの割合	職員	審査委員
01	北海道	107	90	84.11%	80	1	81	9	17	15.89%	7	10
02	青森	12	11	91.67%	10	0	10	1	1	8.33%	0	1
03	岩手	17										
04	宮城	55	45	81.82%	42	2	44	1	10	18.18%	1	9
05	秋田	14	10	71.43%	10	0	10	0	4	28.57%	1	3
06	山形	7										
07	福島	21										
08	茨城	24										
09	栃木	46	43	93.48%	39	1	40	3	3	6.52%	1	2
10	群馬	15										
11	埼玉	112	96	85.71%	90	4	94	2	16	14.29%	9	7
12	千葉	121	116	95.87%	106	0	106	10	5	4.13%	1	4
13	東京	334	325	97.31%	299	1	300	25	9	2.69%	7	2
14	神奈川	211										
15	新潟	11										
16	富山	12										
17	石川	25										
18	福井	8										
19	山梨	8	7	87.50%	7	0	7	0	1	12.50%	1	0
20	長野	40	39	97.50%	36	0	36	3	1	2.50%	1	0
21	岐阜	43	36	83.72%	36	0	36	0	7	16.28%	7	0
22	静岡	39										
23	愛知	103										
24	三重	30	29	96.67%	22	1	23	6	1	3.33%	1	0
25	滋賀	12										
26	京都	37										
27	大阪	280										
28	兵庫	81	70	86.42%	63	3	66	4	11	13.58%	3	8
29	奈良	30	26	86.67%	25	1	26	0	4	13.33%	1	3
30	和歌山	15	14	93.33%	12	0	12	2	1	6.67%	1	0
31	鳥取	3										
32	島根	16	16	100.00%	10	0	10	6	0	0.00%	0	0
33	岡山	35	31	88.57%	30	1	31	0	4	11.43%	3	1
34	広島	17										
35	山口	11	7	63.64%	6	1	7	0	4	36.36%	3	1
36	徳島	14										
37	香川	8										
38	愛媛	10										
39	高知	10	9	90.00%	8	1	9	0	1	10.00%	0	1
40	福岡	76	66	86.84%	61	0	61	5	10	13.16%	5	5
41	佐賀	14										
42	長崎	24	20	83.33%	20	0	20	0	4	16.67%	4	0
43	熊本	32										
44	大分	19	13	68.42%	7	0	7	6	6	31.58%	6	0
45	宮崎	12										
46	鹿児島	30	24	80.00%	20	1	21	3	6	20.00%	0	6
47	沖縄	20										
	全国	2,221							126	5.67%	63	63

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当